

2005年7月12日

倫理委員会からの回答

貴重なご意見、大変ありがとうございました。委員会で慎重に検討させていただきました。その結果を以下に順番に回答させていただきます。

頂いたご意見

- ・ 前文3行目：人類の福祉という用語がわかりにくい。技術者の倫理規定では、公衆の安全・健康・福利となっており、この方がわかりやすいのではないか。

倫理委員会からの回答

「福祉」とするか「福利」とするかで委員会内でも意見が分かれていましたが、結局「福祉」のままとすることにしました。委員会としては「福祉」も「福利」も英語では welfare であり、同意語だと考えております。ただ、「福祉」は社会的弱者に対し使われることが多く、それが「人類すべての福祉」というとしっかりこない理由だと思えます。一方、福利は「福利厚生」という形で使われることが多く、やや「利」に重点が置かれていると感じる人が多いようです。なお、安全・健康に係る意識も含め題記用語を採用しているをご理解下さい。

頂いたご意見

- ・ 行動の手引き2-6：慎重さの要求は、意味は良く分かるが、どの程度実施するかのレベルが分りにくい。

倫理委員会からの回答

倫理規程は一般的なことを規定するものであり、「会員が自分自身の言葉に置き直して道しるべとする」ものです。どの程度実施するかのレベルについては個々の会員に考えていただきたいと存じます。なお、倫理委員会では、このような規程に関する考えを促したり、あるいは倫理委員会内での議論を明らかにするために、事例集の作成を検討しております。

頂いたご意見

- ・ 行動の手引き7-4：利害関係の相反において、この条文では、会員は規制側ではないことがわかる。事業側、規制側の会員がおり、双方の立場での記載が望まれる。

倫理委員会からの回答

原子力学会の倫理規程ですので、原子力学会会員皆が守るべき規範を示しています。原子力学会会員は大学・研究機関に所属する者、電力会社・メーカーに所属する者、規制官庁に

所属する者など様々です。そこで「それぞれの立場の規範」を列記するのではなく、一般的記述とし、会員が「自分の言葉に置き換えて使う」ことを目指しています。なお、修正前の手引は規制側の会員も心すべき内容だとして記載していたものですが、ご指摘を反映させ、規制側の会員にも抵抗のない表現にしたいと存じます。